



校訓：進取 敬愛 剛健

児童像 【考える子 思いやる子 たくましい子】

英田っ子

学校だより 1月号

平成30年 1月 9日

校長 藤井 恒雄

新年あけましておめでとうございます。正月早々、冬型の気圧配置が強まり県内各地で降雪があり寒い日が続いていますが、保護者の皆様におかれましてはご家族お揃いで健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

今日から3学期が始まりました。子どもたちは元気に登校し、静まり返り寒々しかった学校にも活気が戻ってきました。

さて、今年は戌年です。戌年の戌の字は「滅」に繋がります。それは滅びや朽ちるという意味ではなく、「新しい命を守る」という意味があるそうです。秋になり花が落ち冬になりその身は枯れ、表面上はうなだれていても内面の新しい命は守られ、力を蓄え続けている。そんな情景が浮かんできます。また、2月に冬季オリンピック、6月にはサッカーのワールドカップ等様々な大会が開催されます。参加する選手の活躍を期待したいものです。



「夢から未来が創られる」 ～夢の実現へ～

新しい年を迎えて、「こんな1年にしたい」「こんなことができるようになりたい」といった目標や「皆で仲良く、楽しく生活したい」「将来は〇〇になりたい」と考えた人は少なくないと思います。今日の3学期始業式では、夢や目標を持つことの大切さについて話をしました。

先日、新聞に公共交通機関で自動運転システムを導入する記事が載っていました。また、ロボットが受付や案内をする店やホテル等も出てきています。ロボットと一緒に生活が送れる社会は夢のようなことで、何年か前には考えられないことでした。50年以上も前のマンガには、ロボットと一緒に生活する姿やハンドルを握らなくても運転できる車に乗っている姿等が描かれていました。そんな夢のようなことが現実となり、夢でなくなっています。実現できたのは、どうなればより良い生活が送れるかを想像し、どうすればできるのかを考え、工夫や努力を重ねてきたからだと思います。夢や目標にしたことがすぐに実現できないかもしれません。しかし、新しいことを創り出すきっかけになることは間違いありません。たくさんの夢や目標を持って、その実現に向けて頑張ってください。

夢を実現するための言葉があります。

「心が変われば行動が変わる 行動が変われば習慣が変わる
習慣が変われば人格が変わる 人格が変われば運命が変わる」

この言葉は、松井秀喜選手が高校時代に野球部の山下智茂監督からおくられた言葉だそうです。松井選手はこの言葉について、「今も自分の心の中で輝いている宝石のような言葉です」と言っています。今から、こんな心境で、少しでも成長していきたいものです。

3学期は、1～5年生は53日、6年生は49日でそれぞれ進級、卒業となります。1年間のまとめとなる大切な学期です。また、次の学年・次の学校を目指して、自分の気持ちの持ち方や行動の仕方についてしっかり学ぶ時期です。一日一日を大切に、それぞれ目標に向かって努力して行って欲しいと願っています。

最後になりましたが、子どもたちには事故に巻き込まれないよう、ご家庭でも指導していただき、また、地域や隣近所でも互いに協力して子どもを見守ってくださるようお願いいたします。本年が子どもたちにとって、健康で豊かな一年となるよう職員一丸となって努力してまいります。保護者の皆様の一層のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

